

ロアゲハ・オナガアゲハ・カラスアゲハ・ミヤマカラ
スアゲハ・アゲハ・キアゲハ・ナガサキアゲハ。

シロチョウ科 7種

ツマキチョウ・モンシロチョウ・スジグロシロチョウ
・モンキチョウ・スジボソヤマキチョウ・キチョウ・
ツマグロキチョウ。

マダラチョウ科 1種

アサギマダラ。

ジャノメチョウ科 11種

ヒメジャノメ・コジャノメ・ヒメヒカゲ・ヒメウラナ
ミジャノメ・ジャノメチョウ・クロヒカゲ・ヒカゲチ
ョウ・ウラナミジャノメ・サトキマダラヒカゲ・ヤマ
キマダラヒカゲ・クロコノマチョウ。

タテハチョウ科 20種

ウラギンズジヒョウモン・クモガタヒョウモン・ミド
リヒョウモン・メスグロヒョウモン・ツマグロヒョウ
モン・ウラギンヒョウモン・イチモンジチョウ・アサ
マイチモンジ・コムシジ・ホシミスジ・サカハチチョ
ウ・ルリタテハ・ヒオドシチョウ・キタテハ・ヒメア
カタテハ・アカタテハ・スミナガシ・コムラサキ・ゴ
マダラチョウ・オオムラサキ。

テングチョウ科 1種

テングチョウ。

シジミチョウ科 20種

ムラサキシジミ・ムラサキツバメ・ウラゴマダラシジ
ミ・ウラキシジミ・アカシジミ・ウラナミアカシジ
ミ・ミズイロオナガシジミ・ウラミスジシジミ・ミド
リシジミ・オオミドリシジミ・ゴイシシジミ・ツバメ
シジミ・クロシジミ・トラフシジミ・コツバメ・ベニ
シジミ・ウラナミシジミ・ヤマトシジミ・シルビアシ
ジミ・ルリシジミ。

セセリチョウ科 12種

ミヤマセセリ・ダイミョウセセリ・アオバセセリ・ヘ
リグロチャバネセセリ・ヒメキマダラセセリ・コチャ
バネセセリ・キマダラセセリ・ホソバセセリ・チャバ
ネセセリ・ミヤマチャバネセセリ・イチモンジセセリ
・オオチャバネセセリ。

ウラギンシジミ科 1種

ウラギンナミシジミ。

以上、9科、83種

2. あ と が き

(1) 過去に採集された蝶

クロヒカゲモドキ・ウスイロオナガシジミ・ウラ
ジロミドリシジミ・ヒロオビミドリシジミ。

(2) 迷蝶として採集された蝶

ギフチョウ・イシガケチョウ。

(3) 今後採集されられると思われる蝶

キマダラモドキ・ヒメキマダラヒカゲ・エゾスジ
グロシロチョウ。

(4) 以前には市内北部の山裾や谷間に、クヌギ・コ ナラ・ナワガシワ等、蝶の食草となる広葉樹林が 生えていたのが、宅地造成、河川改修、土地開発 により伐採され、その数も少なくなり、蝶達の姿 が消えて行く様は、我々蝶愛好家にとっても淋し い事です。昆虫の生息地となる自然公園も最近は 人工的な公園に造りかえられ、環境的にも今一歩 考えうる所があるのではないのでしょうか、又私達 も乱獲をひかえ、自然保護に協力すべく努力しま しょう。

(GORO KAWASAKI) 〒678 相生市

越冬していたウラナミシジミ

広 畑 政 己

本種の兵庫県に於ける土着の可能性については、
PARNASSIUS No19 に報告して来たが、1979年2月
12日の南淡町灘地区の調査で、エンドウから本種の終
令幼虫と卵を確認した。

持ち帰った幼虫は2月20日に蛹化し、卵も2月22日
にフ化した。

灘地区は淡路島の中でも気候は温暖で、冬期にも栽
培種のエンドウの花が見られ、2月には大きなサヤを
つける。今冬は特に暖かく、エンドウの発育もよいよ
うであるが、平年でも秋のインゲンマメ、ハマエンド
ウから冬のエンドウ、ソラマメへと食草を換え、世代
を繰り返していくものと思われる。

今年の灘の冬期気温については、灘測候所が無人の
ためその集計が遅れ、発表が4月ごろになる。越冬と
温度の関係など詳細は追って報告したい。